



8月

たけのこだより

令和5年 8月 1日



少しずつ前進中！



暑中お見舞い申し上げます。
暑い日が続きますが、毎日元気に子ども達は通所してきます。朝の玄関は笑顔がいっぱい
です。
たけのこに通ってくる子ども達は少しずつですが確実に成長しています。時には止まって
いるように感じることもあるかもしれませんが蓄積しています。ですからこの期間もマイナ
スではなく前進しています。

毎日たけのこには、子ども達の元気な声とともに、職員の「すごいね」「えらいね」「やっ
たー！」「じょうず」「頑張れー」の声や笑い声が響いています。子ども達の頑張る姿は心が
ほかほかします。

こんなことができるようになりました。

- 朝、元気に「おはよう」と言って入ってきます。
- 一人で靴と靴下を脱ぎ、下駄箱やロッカーに入れることができます。
- リュックからおたより帳やタオル・お弁当・コップ等を出して、整理することができます。
- 朝の会で自分の名前が呼ばれたら、反応したり、手を挙げたり、「はい」と返事ができたり
するようになりました。
- プールで顔に水がかかっても大丈夫になってきました。
- 順番を守るようになってきました。
- おもちゃなどの貸し借りができるようになってきました。

まだまだ課題はありますが、子ども達に寄り添いながら支援し、少しずつ成長につなげて
いくようさらに努力してまいります。子ども達にとってたけのこが楽しい場所、頑張れる場
所になることを願って。

施設長

《8月のカレンダー》

※お天気の日には水遊びをします。



| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|--------------|----------|----------------|-------------------------|---------|
| 7/31 | 8/1 | 2 ☆ | 3 | 4 |
| 7 | 8 | 9 ☆ お誕生日会 | 10 たけのこ 夏休み ~8/20 | 11 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 21 ← | 22 避難 | 23 ☆ 訓練週 | 24 間 | 25 → |
| 28 夏祭りごっこ | 29 | 30 ☆ 夏祭りごっこ | 31 夏祭りごっこ | 9/1 |

☆印：公認心理師がおります。



子ども達の作品

《9月の主な行事予定》

| | | | |
|-------|---------------------------------|------------|----------------------------|
| 4日(月) | 避難&引き渡し訓練 | 第2週 ~4週 | 個人面談 (6月から通所 されている方) |
| 6日(水) | (複数日通所している場合はこのうち1日を選択していただきます) | | |
| 7日(木) | | | |



道路面に看板がつかしました

※引き渡し訓練は、13:30に保護者の方に迎えに来ていただきます。場所は子どもの森の予定です。詳細は後日お知らせいたします。



姿勢と基礎運動について

児童発達支援管理責任者

子どもが生まれてから歩くまでにはいろいろな姿勢を経験します。最初はお母さんに抱かれて授乳する姿勢を思い出してください。あの姿勢は椅子に座る姿勢=座位を経験しています。その後、げっぶをさせようと赤ちゃんの顔を自分の肩に乗せるようにし、腕はお尻の下を押えています。これは立つ=立位姿勢を経験していることとなります。また、赤ちゃんは外の環境に適応するために本人が意識しているわけではなく無意識に特定の筋肉などが動く現象、原始反射※1があります。この原始反射は生後2~3か月程度で消滅または抑制され、自分の意志で動かす、随意運動に移行していきます。歩行獲得への第1歩です。

さて、たけのこでは粗大運動の一つとして基礎運動を行っています。基礎運動は、「横転」「腹ばい移動」「六つ這い移動」「四つ這い移動」「膝立ち歩き」「手押し車」の6種類の動きを行います。子どもが生まれてから歩くまでの過程を順番に行うマット運動です。

赤ちゃんは随意運動を行うようになると、左右に体を揺さぶるようになります。そして、寝返りを獲得します。「横転」の動きはその動作を右回り、左回りで行います。その次は腹ばい移動です。お腹をマットにつけ頭を持ち上げ、手と足を交互に動かしながら進む動作です(ほふく前進)。なかなか手足を交互に動かして進むことが苦手なお子さんが多く見られます。「六つ這い移動」は両手、両足及び膝を使って移動します(ハイハイ)。この時、頭部をしっかりと保持し、体幹を支えながら進みます。ここで抗重力姿勢を経験します。「四つ這い移動」は両手、両足をマットにつけ腰を浮かして交互に動かして移動する動作です。腰を持ち上げることは両手両足の支える力が必要になります。「膝立ち歩き」は、膝立ちをし、手を交互に振りながら進む動作です。バランスを保ちながら進むことが大切になります。「手押し車」はマットに手を付け両手で自分の体を支え大人が足をもって進みます。

それぞれの動きを促す時は、お子さんの体の動かし方、体幹力、両手両足の交互性や両腕で自分を支える力の状態を見ながら補助をしています。基礎運動は、粗大運動を促しながらまずは体の動かし方を学習します。さらに人間が成長していく上で大切なことも学んでいます。

動物が外界の情報や生命を脅かす危険をキャッチする重要なセンサーとして「味覚」「触覚(皮膚感覚)」「嗅覚」「視覚」「聴覚」五感がありますが、さらに大切な感覚機能が「前庭感覚機能」※2「固有感覚機能」※3です。あまり聞き慣れない感覚機能ですがこの二つの機能は、姿勢の変化を感じ取り、自分の体の動き(ボディイメージ)を理解する上でとても重要になります。

保護者の皆さんにもできることがたくさんあります。散歩やブランコ、シーソー、滑り台などの固定遊具を使ってたくさん遊んでみましょう。遊びが子ども達の成長を促していますよ。

※1 反射とは、本人が意識しているわけではなく、無意識に起こる特定の筋肉などが動く現象です。

※2 「前庭感覚」は、耳の内耳にある検出器官によって、身体の傾きや身体のスピードの感覚を脳に伝えています。

※3 「固有感覚」は、身体の筋肉の中に感覚器官が有り、力をどれくらい入れるのか、外からどのくらいの力がかかっているのかを検出して、身体の動きや手足の感覚を脳に伝えます。

